

「いしづみ碑の会」からのお願い

「無言館」館主・作家窪島誠一郎さんは、かねて岩内の街と海を一望し泊原発と真向う丘に、ひとつの石碑を建てる計画をもっていました。が、いよいよ年内完成を目ざして石碑の建設準備を始めました。

私たちは、窪島誠一郎さんのこの計画に大きな期待をもって賛同し、石碑の一日も早い建立を願って「碑の会」を設立してその応援をすることにしました。有志の皆さんのご協力をお願いします。

建立場所 岩内町野東

募金目標 二五〇万円

募金期限 平成二十六年九月末日までとします。

募金方法 一口(千円)以上の賛同募金を、よびかけ人にお寄せいただくか、

郵便振込でお願いします。

「碑の会」よびかけ人

青木久美子 (㈱旅システム)	秋山 孝二 (財秋山記念生命科学振興財団理事長)
猪狩 久一 (弁護士)	石川 一美 (北海道平和婦人会会長)
伊藤 めぐ (歌手)	植田 英隆 (㈱りんゆう観光代表取締役社長)
大田 勤 (岩内町議会議員)	内山 博 (㈱旅システム代表取締役社長)
加藤 多一 (童話作家)	大石 美雪 (原発問題後志市民の会事務局長)
高崎 暢 (弁護士)	小笠原正浩 (立命館慶祥中・高校教育振興会会長)
國田 裕子 (札幌窪島会代表)	菊地 大 (余市教育福祉村理事長)
橋 晃弘 (北海道反原発連合)	鳴谷 節夫 (平和と教育を考えるツアー連絡会会長)
中原清一郎 (作家)	菅 訓章 (神田日勝記念美術館友の会参与)
福原 正和 (医師)	馬場 怜 (書家・余市九条の会代表)
本堂 秀利 (岩内町議会議員)	吉田 重子 (北海道視覚障害者九条の会幹事長)
吉野 正敏 (認定NPO・北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会理事長)	

お問い合わせ先

余市町登町六三六・菊地大 (☎0135・23・7343)

札幌市白石区本通二丁目南五―五・國田裕子 (☎011・866・1747)

岩内町字栄一三三・五・大石美雪 (☎0135・62・3226)

碑文

「核」を
絵筆で塗りつぶせ
ペンで書きあらためよ

水上 勉
窪島誠一郎

われら父子（水上勉・窪島誠一郎）は太平洋戦争下の混乱期に離別し、戦後三十余年ぶりに奇跡の再会を果たした。時に父五十八歳、子三十五歳。父水上勉は生前、故郷若狭に群立する原子力発電所の存在を批判し、子窪島誠一郎は信州上田に戦没画学生を慰霊する美術館「無言館」を建設した。父の代表作「飢餓海峡」の舞台であり、子の妻紀子が生まれ育った郷里である岩内の丘に、われら父子は「三行の希い」を刻んだ一碑を建立するものなり。

建立者 窪島誠一郎